

2014年2月21日

JR東日本秋田支社

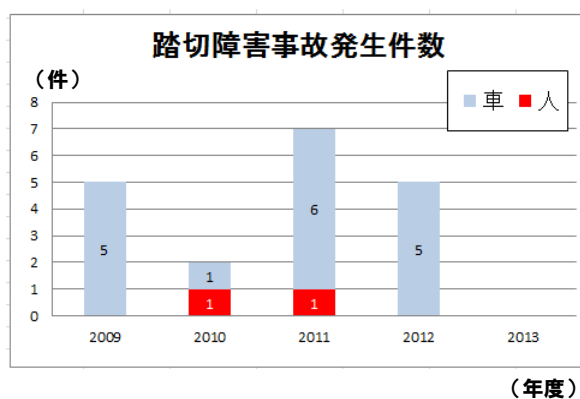
## 踏切事故対策の取組みについて

JR東日本秋田支社では、会社発足以降これまで踏切における立体交差化、踏切の安全設備の整備等の安全対策を進めてまいりました。会社発足時と比較して事故件数は減少してきましたが、引き続き関係箇所のご協力をいただきながらさらなる事故防止に向けた取り組みを進めていく必要があります。

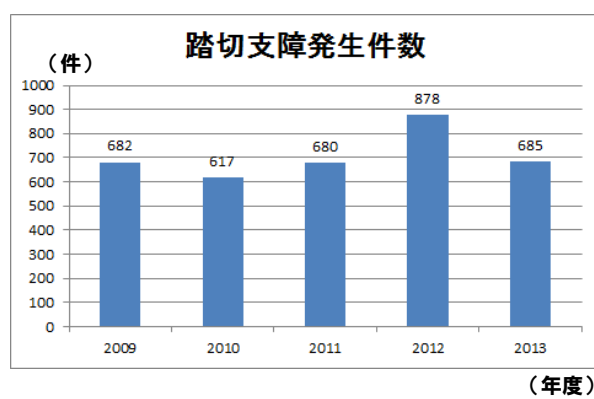
今後、踏切支障報知装置の設置、無遮断防止対策を計画的に進めるとともに、「踏切事故0運動」の一環として「踏切事故防止キャンペーン」を今後も継続して実施してまいります。

### 1. 踏切の状況について

#### (1) 踏切障害事故の推移



#### (2) 踏切支障件数の推移



※2014年1月末現在

### 2. 踏切事故防止に向けた主な取組み

#### (1) 踏切支障報知装置

踏切支障報知装置を今年度7箇所設置します。さらに来年度から4年間で204箇所設置します。

#### (2) 踏切を確実に動作させるバックアップ装置の整備

踏切の無遮断を防ぐ装置を2013年度から5年間で127箇所の踏切に整備します。



#### (3) 踏切支障報知装置の存在を知らせる表示シールの設置

踏切支障報知装置が設置されている踏切(327箇所)に2014年11月まで表示シールの設置を整備します。



#### (4) 「踏切事故0運動」のキャンペーンについて

「踏切事故0運動」の一環で冬期踏切事故防止キャンペーンを実施しております。今年度は、以下の項目に重点を置き、所轄警察署と連携し、踏切をご利用になる皆様にご理解とご協力をお願いするキャンペーンを実施しています。

- ・「踏切の警報機が鳴り始めたら踏切の中には決して立ち入らないでください。」
- ・「踏切内の異常を発見したら非常ボタンを押してください。」
- ・「非常ボタンを扱った場合でも踏切内には立ち入らないで下さい。」

##### ① 実施内容

- ・高齢者ドライバーへの取組みとして、高齢者講習時に踏切事故防止キャンペーングッズを配布。
- ・各地区主催の踏切脱出体験訓練会を開催し、自治体等に協力を要請するなど、踏切からの脱出方法等を広く周知。
- ・列車内放送でも「踏切事故防止キャンペーン実施中」の呼びかけ。
- ・駅の構内放送にて「踏切事故防止キャンペーン実施中」の呼びかけ。
- ・運動期間中は各駅にて「踏切事故0運動」ののぼり旗を掲出し、通勤、通学者に対してアピール。



##### ② 実施時期:2013年11月より2014年3月末まで

###### 【県南地区】

田沢湖線 田沢湖駅構内 男坂踏切  
北上線 矢美津・横手駅間 横山踏切  
田沢湖線 角館駅構内 菅沢踏切  
奥羽本線 湯沢駅構内 湯沢街道踏切  
奥羽本線 大曲・神宮寺駅間 鴨塚踏切

###### 【中央地区】

羽越本線 新屋駅構内 豊岩踏切  
男鹿線 二田駅構内 二田踏切

###### 【県北地区】

奥羽本線 大館駅構内 大館踏切  
五能線 東能代・能代駅間 藤山踏切



※上記踏切は、以下の理由などから選定しています。

- ・自動車や歩行者の交通量が多い。
- ・道幅が狭く、車両の交差に注意を要する。
- ・付近に学校や老人養護施設などがある。

